

## 平成 27 年度第 2 回高梁市地域公共交通会議議事録（要旨）

日時：平成 27 年 9 月 1 日（火） 9：30～

場所：高梁市役所 3 階大会議室 1

資料：・第 2 回高梁市地域公共交通会議資料

- ・地域公共交通網形成計画の策定に当たっての  
独占禁止法上の留意点について
- ・高梁駅～リハビリセンター～吉川便路線変更について
- ・高梁市地域公共交通会議設置要綱
- ・平成 27 年度第 2 回高梁市地域公共交通会議 委員名簿
- ・席次表



### 1. 開 会

### 2. 委嘱状交付

- ・委嘱状交付
- ・出欠報告、会議成立報告

### 3. 市長あいさつ

### 4. 役員改選

- ・会長・副会長選任  
会長に難波委員（高梁市副市長）、副会長に平松委員（成羽地域まちづくり協議会会長）を選任
- ・難波会長あいさつ
- ・監査委員選任  
植木委員（有漢地域まちづくり協議会会長）、堀井委員（高梁市民生委員児童委員協議会）を選任

### 5. 市の地域公共交通の概要説明

- ・高梁市地域公共交通網形成計画（概要版）にて事務局説明
  - ・高梁市地域公共交通会議設置要綱改正点について事務局説明
- 質疑なし

### 6. 議 事

（1）川面・巨瀬・中井生活福祉バス本格運行について（事務局説明）

協 議

三宅委員：月間利用者数が無料期間の半分の水準で推移していますが、この点に関してどのようにお考えですか。

事 務 局：お試し期間として無料期間を設けていましたので、他に移動手段をお持ちの方でも、試しに乗ってみたという人が多数あった結果で、現在の利用者数が他に移動手段を持たず、バ

スを必要とする人の数であり、地域実態を反映した数値と考えています。

新屋委員：現在、備中高梁駅周辺整備事業に伴い仮設のバスセンターとなっていますが、バスセンターが元の位置に移動した場合、この市街地運行ルートは、それに合わせて変わりますか。

事務局：来年12月には複合施設が完成し、この中にバスセンターが入りますので、これに合わせて市街地運行ルートは見直す予定です。

新屋委員：今回の川面・巨瀬・中井生活福祉バスの中心市街地までの運行について、将来的には備中や川上など他の生活福祉バス路線についても、お考えでしょうか。それともこの地域だけに限定したものでしょうか。前回の会議では、幹線バスを中心にフィーダーの部分と重複しないように将来の交通イメージ図として出されていたと思います。この生活福祉バスの市街地運行ルートは、路線バスの循環線ルートとも重複しています。重複路線への国・県の助成も含めて、この点をどのようにお考えでしょうか。また、これまでバスが運行していなかった地域の移動は、タクシーが担っていましたが、生活福祉バスが運行することにより、既存のタクシーとの競合も生まれます。更に生活福祉バスのように割安運賃での移動手段の拡大は、タクシー事業者だけでなく、歩合制の乗務員賃金への影響も懸念されます。全国的に乗務員が不足している今日、公共交通を支える労働力を今後どのように確保していくのか、そのあたりも専門的な立場からお答えいただければと思います。

事務局：生活福祉バスや乗合タクシーの利用は、高齢者がほとんどであり、その利用目的も通院、買い物がほとんどを占めています。そのため、生活福祉バスや乗合タクシーの運行区域は、通院、買物を完結できる地域を基本としています。川面・巨瀬・中井地域は、地域内に医療機関や商業施設がないため、市街地まで運行しています。備中や川上については、現在の運行区域内で通院、買物ができるので、高梁市街地までの延伸は考えていません。高梁市では、お手元の交通網形成計画概要版の交通イメージ図にありますように備中高梁駅、成羽病院周辺、川上町地頭地区の3つを交通拠点とし、交通拠点間を幹線として民間路線バスが担い、交通拠点までのフィーダー部分を生活福祉バスやデマンドタクシーなど地域の実態に合った交通手段で補っていくというのが、基本的な考え方であり、これを基本に交通再編を進めていきたいと考えています。

神宝専門官：今後の公共交通のあり方として、地方では、これまでの交通ネットワークの維持ができなくなりつつある中で、国としては、こうした公共交通会議など地域で考えていただき、地域ニーズに合わせた交通網を基本としています。福祉バスとタクシー等の競合等に関しては、交通会議の合意を得た上での申請となっていますので、そうした問題は、解決されていると考えています。

植木委員：有漢乗合タクシーの実証運行に際して行われたアンケート調査では、潜在需要は十分あると判断されましたが、実際の利用は少なかったため、本格運行には至りませんでした。この失敗を踏まえ、移動ニーズの実態を十分把握していただきたいと思います。また、交通対策費が2億円を超えている中、自治体は、地域の公共交通のあり方、方向性をしっかり捉え、軸足を定めて取り組んでいただきたいと思います。

難波会長：民間でできることは民間が基本であり、民間だけでできない部分を民間と一緒に行政がどう取り組んでいくかを協議するのがこの交通会議です。より多くの人々が利用し、満足してもらえるよう費用対効果も踏まえて、皆さんからのご意見をいただきながら進めていきたいと思っています。

植木委員：移動ニーズをしっかりと把握し、移動ニーズがあるところへの運行を心がけていただきたいと思います。

事務局：おっしゃる通り、移動ニーズの把握が重要であると考えています。有漢地域の失敗の轍を踏まえ、その後の他地域では、多面的にニーズ調査を行い、そのノウハウの蓄積もできてきました。有漢地域も改めてニーズ調査を計画していますので、よろしくお願いします。

難波会長：他にご質問ご意見等ありませんでしょうか・・・・・・無いようですので、川面・巨瀬・中井生活福祉バスの本格運行をご承認いただけますでしょうか。 →承認

## (2) 高梁市地域公共交通再編実施計画について

- ・再編実施計画策定手順について（事務局説明）
  - ・再編実施計画策定にあたっての独占禁止法上の留意点について（岡山運輸支局説明）
- 質疑なし

- ・松原地域及び落合町原田地区再編計画（事務局説明）

### 協 議

新屋委員：福地の乗合タクシーは、成羽に近く、高梁よりも成羽ブロックにしたほうがよいのではないのでしょうか。

事務局：これに関しましては、地元の福地をよくする会のほうで協議していただいております。現時点の地元要望としては、従来通り高梁となっています。おっしゃるように成羽が近く、成羽病院の利用も多い地区ですので、地元へ投げかけて、検討していただきたいと思います。

難波会長：他にご質問ご意見等ありませんでしょうか・・・・・・無いようですので、松原地域及び落合町原田地区再編計画について、ご承認いただけますでしょうか。 →承認

## (3) その他

高梁駅～リハビリセンター～吉川便路線変更について（事務局説明）

質疑無し

## 7. 閉 会